

重点目標1 社会の変化を前向きに受け止め、夢と志を持って可能性に挑戦する力を育成します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の柱1 確かな学力の育成				
施策の基本方針(1)乳幼児期における教育・保育の質の向上				
主な取組・事業	幼保交流研修の実施・充実	幼保交流研修を開催。各回、大学等から講師を招き、講義や演習を実施した。 令和元年度 幼児教育研修8回、特別支援学習会4回 令和2年度 幼児教育研修6回、食育・アレルギー研修3回 令和3年度 幼児教育研修9回、カリキュラム研修2回 乳児保育研修3回、特別支援学習会2回 令和4年度 幼児教育研修8回 参加者延160名 マネジメント研修3回 参加者延62名 保護者支援・子育て支援研修4回 参加者延371名 特別支援学習会4回 参加者延129名	計画通り実施できた	今後も継続して研修会を実施し、保育教諭の保育の専門性を高めていくことで、西脇市の就学前教育・保育の資質向上を目指す。
	就学前教育・保育施設への運営支援	市内幼保連携型認定こども園及び特定認可外保育施設の運営に対し、財政的支援を実施した。 西脇市保育協会園長会において、園の実情を把握するとともに、国県の動向等の情報共有を図った。 月1回の園長会に出席	計画通り実施できた	今後も継続して市内保育施設に対する運営支援を実施し、多様化する保育ニーズに対応するとともに、就学前教育・保育施設の健全で持続可能な運営の維持を目指す。
	幼児教育センターによる現場交流事業等の充実	幼児教育センター職員による現場交流事業を実施した。 幼保連携型認定こども園（8園）へ訪問 令和元年度 77回 令和2年度 82回 令和3年度 69回 令和4年度 81回訪問(予定)	計画通り実施できた	今後も継続して実施。職員2名体制による訪問を基本とし、各園の希望やニーズに聞きながら、市内園の教育保育の充実を目指す。

重点目標 1 社会の変化を前向きに受け止め、夢と志を持って可能性に挑戦する力を育成します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
主な取組・事業	「西脇市就学前教育・保育カリキュラム」に基づいた保育内容と実践の評価・点検手法の調査研究	令和元年度から、西脇市就学前教育・保育の質の向上推進委員会を開催し、各園がカリキュラムに基づく保育内容の提供が行われているか検証を行うとともに、委員による視察訪問を通して、カリキュラムの理解と実践を促し、現状と課題を明確化し必要な助言や指導を行う。 委員会 3回実施（4月・8月・1月） 視察訪問 保育内容 2回（前期・後期）×9園 特別支援 2回（前期・後期）×6園 ※3園は保育内容と特別支援を同日で実施	計画通り実施できた	各園の状況を踏まえ、視察訪問の方法等の見直しを図りながら継続実施する。また、各園での自己評価システム（自らの特性や強み、課題を明確化し改善につなげるサイクル）を定着させるよう支援を行い、就学前教育・保育の充実を目指す。
	しばざくら幼稚園の閉園	令和元年度から令和4年度 3～5歳児の幼児教育を実施 研修研究拠点として訪問受入れ 令和4年度末の閉園に向けて 関係条例、規則、規程の改正 在園児（3歳児、4歳児）の転園調整 閉園に係る調整	計画通り実施できた	令和4年度末に閉園
施策の基本方針(2)新学習指導要領の着実な実施等				
主な取組・事業	各教科部会の充実	各教科担当の指導主事を明確にし、研究授業をはじめとする市内全校に共通する課題研究を実施した。	計画通り実施できた	小中一貫教育推進に向けた各教科の学びの系統についての工夫改善を行う。
	学校における授業改善の推進	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善をテーマに学力向上ウィークを実施した。	計画通り実施できた	「深い学び」につながるよう、さらなる授業改善に向けて研究を進めていく。
	研究指定校等による研究	県教委の指定により、研究内容を授業実践に生かすことができた。	計画通り実施できた	これからの教育課題であるICT機器の活用に関する研究が必要である。

重点目標1 社会の変化を前向きに受け止め、夢と志を持って可能性に挑戦する力を育成します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(3)全国学力・学習状況調査の実施・分析・活用				
主な 取組 ・ 事業	学力向上推進会議、学力向上推進委員会の継続設置	学力向上推進会議を年間3回、学力向上推進委員会を年間4回、継続して開催した。	計画通り実施できた	具体的で実効性のある取組につながる協議となるよう、引き続き工夫改善を行う。
	授業改善に係る教科研究グループ等の設置	国語、算数・数学、英語、情報教育について研究グループを設置。指導主事と担当者が連携し、研究を進めた。	計画通り実施できた	学力向上推進会議や学力向上推進委員会における協議の結果を受けた研究を引き続き進める。
	市内統一学力調査実施	調査教科は国語及び算数/数学で実施。 調査の対象は、小学校第3学年、第4学年、第5学年、中学校第1学年、第2学年	計画通り実施できた	今後も継続して実施し、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、各学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるとともに、学力保障及び学力向上対策の充実を図っていく。
	全国学力・学習状況調査、市内統一学力調査の分析	全国学力・学習状況調査については、早期採点による児童生徒の学習状況の把握と学習指導の改善・充実に取り組んだ。また、保護者向けチラシを作製し、紙媒体で対象学年に配布、電子媒体では全家庭へ連絡メールにより啓発を行った。どちらの調査結果についても、経年比較や正答率40%未満の割合、学校間比較を行い、各校へ報告するとともに、各校における分析と指導の改善・充実の取組を図った。	計画通り実施できた	今後も継続して実施し、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、各校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てていく。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立していく。
施策の基本方針(4)就学前から中等教育までの各段階の連携の推進				
主な 取組 ・ 事業	西脇市中学校区連携教育の推進	小中一貫教育を視野に入れ、各校区の実情に即した連携の工夫を行った。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	学校行事の合同開催等、特別活動に関する内容の工夫改善を行う。
	西脇市中学校区連携教育推進協議会の設置	校区の小中教員が課題別に参集し、連携の具体化を図った。	計画通り実施できた	推進内容の日常的な情報共有を行う必要がある。
	就学前教育・小学校教育接続カリキュラムの編成	各中学校区の園児・児童生徒の実態把握を基にカリキュラム策定に向けた方向性を明確化した。	計画通り実施できた	カリキュラム策定後の効果的な運用についての研究を行う。

重点目標 1 社会の変化を前向きに受け止め、夢と志を持って可能性に挑戦する力を育成します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の柱2 豊かな心の育成				
施策の基本方針(1)子どもたちの自己肯定感・自己有用感の育成				
主な取組・事業	自然学校（自然体験：小5）、わくわくオーケストラ教室（芸術鑑賞：中1）等、体験活動の充実	・自然学校：宿泊を伴う5日間において、自然についての学習や日常生活では味わえない体験活動を行った。 ・わくわくオーケストラ教室：実施校1校につき年1回、生のオーケストラの演奏を聴くだけでなく、楽器の基礎を学びながら生徒も何らかの形で参加するといった体験をとおした鑑賞会を行った。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	子どもたちの発達段階に応じて社会性や豊かな人間性を培っていくために、今後も継続して、小学5年生の「自然学校」による自然（環境）体験及び中学1年生の「わくわくオーケストラ教室」による芸術体験を通して、感染症対策等を実施しながら、子どもたちが自ら学び、考える力を育成していく。
	ソーシャルボンド・マイプラン（社会体験）の奨励	校内における異年齢及び地域と関わる体験する取組を年2回実施し、顕著な取組の活動記録を各校に共有し、啓発を図った。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	取組がやや形骸化している面があるため、児童生徒が企画・計画し、自ら人及び社会と関わっていく取組となるよう、検討が必要である。
	地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」（中2）の充実、地域に活かす「トライやる」アクション（全学年）への参加奨励	コロナウイルス感染感染予防を行いながら、制限を加えて実施した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	受入可能事業所数の減少等により、業種に偏りが生じている。また、バンク登録事業所数の減少に伴い、受入先の確保や継続した活動を行うための取組等の検討が必要である。
	各種ボランティア活動・地域行事への参加の奨励	地域団体からのボランティア募集（主に中学生）に対し、学校で周知し参加した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	コロナウイルス感染予防の観点から、各種ボランティアの募集が減少し、コロナ渦以前の事業募集数に戻らないことが考えられる。
施策の基本方針(2)道徳教育の推進				
主な取組・事業	地域・家庭と連携した道徳教育の推進（道徳教科書周知・道徳参観開催等）	授業参観日やオープンスクールにおいて、道徳科の授業を公開したり、道徳科ノートを通して保護者に学習過程を伝えたりする取組を行った。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	取組の質について学校間の差があるため、効果的な実践を市内で共有しながら推進する必要がある。
	道徳科スキルアップ教員研修実施（小中）	「考え、議論する道徳」の授業実践をする教員のスキルアップを図るため、講師を招聘し小中学校の教員と一緒に学ぶ研修会を実施した。	計画通り実施できた	授業づくりのスキルや児童生徒観を一層磨くために、教員が主体的に学び、自らを省察できる研修の充実を図る必要がある。

重点目標 1 社会の変化を前向きに受け止め、夢と志を持って可能性に挑戦する力を育成します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(3)いじめ等への対応の徹底、人権教育の推進				
主な取組・事業	教育カウンセリング事業の充実 (SC・SSW配置等)	相談件数の増加や相談内容の多様化についての課題を共有し、相談体制の工夫改善を行った。	計画通り実施できた	児童生徒の実態に即し、カウンセラーの配置校を見直す必要がある。
	生徒理解促進事業の充実	・学級満足度調査の実施 年2回(6月、11月)、小学校5・6年生、 中学校1～3年生を対象 ・児童会・生徒会リーダー研修 令和4年度は1月に開催。講師を招いて、実践的な研修を行った。	計画通り実施できた	児童生徒を取り巻く家庭環境の変容に対応する研修が必要である。
施策の基本方針(4)体験活動や読書活動の充実				
主な取組・事業	市立図書館における読書活動の推進	おはなし会の開催 読み聞かせボランティア養成講座の実施 ブックスタート事業の実施 学校園等への団体貸出及び運搬業務委託の実施 学校園への出張おはなし会の実施 お薦め図書リスト作成、配布	計画通り実施できた	引き続き各事業をより効率的に実施するとともに、内容をさらに充実させ、幅広く読書活動の推進に努める
	環境体験学習(小3)、自然学校(自然体験:小5)、わくわくオーケストラ教室(芸術鑑賞:中1)、地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」(社会体験:中2)等の実施	・環境体験学習:年5回以上 ・自然学校:宿泊を伴う5日間 ・わくわくオーケストラ教室:実施校1校につき年1回 ・地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」:5日間	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	今後も引き続き、小学3年生の「環境体験事業」及び小学5年生の「自然学校」による自然(環境)体験、中学2年生での「トライやる・ウィーク」による社会体験、中学1年生の「わくわくオーケストラ教室」による芸術体験を通して、感染症対策等を実施しながら、発達段階に応じた体系的な体験活動の一層の充実を図っていく。
施策の基本方針(5)伝統や文化等に関する教育の推進				
主な取組・事業	郷土の伝統・文化施設における開催行事の活性化	文化庁の補助金により太鼓屋台の修繕を行い地域の伝統文化行事である秋祭りの開催を支援した。 令和元年度 2件 令和2年度 1件 令和3年度 3件 令和4年度 2件	計画通り実施できた	今後も継続して、地域の伝統文化行事である秋祭り等の開催を支援するとともに、伝統や文化等に関する教育を推進する。
	郷土を知る教材の活用による郷土の知識・郷土愛を育む取組の推進	小学3・4年生において社会科副読本「わたしたちのまち西脇市」を活用して、西脇市を地域を教材とした授業実践を実施した。「市長ふるさとを語る」事業を小学6年生と中学2年生を対象に実施した。	計画通り実施できた	令和5年度に社会科副読本を改訂し、令和6年度より新版を使用開始する。

重点目標1 社会の変化を前向きに受け止め、夢と志を持って可能性に挑戦する力を育成します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
主な 取組 事業	文化芸術による子どもの育成事業- 巡回公演事業-	実演芸術団体より鑑賞指導や実技指導、共演の練習等、実施校1校につき1回、概ね2時限分程度(80分~100分)実施した。	計画通り実施できた	今後も引き続き、感染症対策を実施しながら、小学校・中学校等において文化芸術団体による巡回公演を行うことにより、文化の担い手となる子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげていく。
	西脇市子ども造形作品展	児童生徒の感性を育み、創作活動の深化を図ることができた。	計画通り実施できた	会場準備等の作業が授業実施時間帯であること等、学校運営に支障をきたす時間帯がある。
	西脇市連合音楽会	小中音楽科の成果発表の交流により、授業実践向上につながった。	計画通り実施できた	授業時間の確保等から学校行事の精選として令和2年度より廃止した。
	西脇市子ども芸術祭美術展・子どもステージ	【開催実績】(R5.2.24現在) 美術展： R4 応募1,091点、観覧1,073人 R3 応募1,004点、観覧1,135人 R1 応募1,255点、観覧1,000人 ステージ：R4 出演171人、観覧536人 R3 出演126人、観覧473人 R1 出演160人、観覧515人 ※R2はコロナにより未開催	計画通り実施できた	開催を通じて、芸術体験機会を創出する。
	西脇市民音楽祭	【開催実績】(R5.2.24現在) R3 出演179人、観覧328人 ※R1及びR2はコロナにより未開催	計画通り実施できた	開催を通じて、芸術体験機会を創出する。
	放課後子どもいけばな・茶道教室	【開催実績】(R5.2.24現在) 参加者数：R4 いけばな42人、茶道25人 R3 いけばな53人、茶道35人 R2 いけばな46人、茶道36人 R1 いけばな45人、茶道31人	計画通り実施できた	開催を通じて、文化体験機会を創出する。

重点目標1 社会の変化を前向きに受け止め、夢と志を持って可能性に挑戦する力を育成します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(6)文化財の保存・活用の推進				
主な取組・事業	指定文化財、未指定文化財の調査・保存	八幡神社阿弥陀堂の仏像（未指定）、石上神社なまずおさえ神事（県指定）、妙覚寺ワラワラ（市指定）等、文化財の調査を実施した。 令和元年度 8件 令和2年度 1件 令和3年度 4件 令和4年度 4件	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	今後も継続して、指定文化財、未指定文化財の調査を実施し、郷土の貴重な文化財の把握を行い、文化財の保存・活用を推進する。 多くの文化財が存在するため、年間の調査件数を増やす必要がある。
	郷土資料館での特別展や各種講座・体験学習などの開催	むかしの道具を展示する特別展や古文書講座、播州織コースター作り等の体験学習を開催した。 令和元年度 特別展2回、講座1回、体験学習8回 令和2年度 特別展2回、講座1回、体験学習0回 令和3年度 特別展1回、講座1回、体験学習1回 令和4年度 特別展2回、講座1回、体験学習3回	計画通り実施できた	今後も継続して、特別展や各種講座・体験学習などを開催し、郷土の貴重な文化財への関心を高め、文化財の保存・活用を推進する。
	研究紀要「童子山」の刊行	令和4年度に研究紀要「童子山」第25号を刊行。 現在印刷会社に入稿済み（3月末完成）	課題が残った	研究紀要「童子山」を刊行し、郷土の貴重な文化財の調査成果等を発信し、文化財への関心を高め、文化財の保存・活用を推進するため年1回の刊行を目指す。
	国登録有形文化財の旧来住家住宅の活用	有形登録文化財である旧来住家住宅を公開し、ガイドによる案内を実施 見学者数 R1:15,703 R2: 9,219 R3: 9,864 R4:13,645 (R5.1末現在)	計画通り実施できた	指定管理者による管理・運営を継続する。
施策の基本方針(7)青少年の健全育成				
主な取組・事業	「地域の子どもは地域で守り育てよう」事業	各中学校区において健全育成会議や健全育成講演会を開催し、青少年健全育成の気運向上を図ることができた。	計画通り実施できた	多くの方々に講演会に参加いただけるよう、学校と講師の選定や開催時間帯の調整を図る必要がある。
	「西脇ハーティネス・メンバーズ運動」実施事業	児童生徒の登下校の見守り活動を中心とした地域活動理解を深めることができた。	計画通り実施できた	「地域の子どもは地域で守り育てよう」事業の健全育成講演会と合わせて実施し、効果的な開催を行う。

重点目標 1 社会の変化を前向きに受け止め、夢と志を持って可能性に挑戦する力を育成します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(8)男女共同参画の推進				
主な取組・事業	外部講師による男女共同参画に係る研修（デートDV等）	誰もがあらゆる暴力を許さない意識を持ってDV発生を予防し、また被害者をいち早く保護することをねらいとして、市内中学校及び高等学校を対象に、デートDV防止及びアンガーマネジメント出張授業を実施した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	授業に参加した生徒への学習では、誰もがあらゆる暴力を許さない意識を育む効果が見られた。一方、当初の計画に出張授業校数が及ばず、機会の確保が課題となっている。
施策の基本方針(9)主権者教育・租税教育等の推進				
主な取組・事業	社会科（公民）・家庭科等における主権者・租税・消費者教育実施	学習指導要領に基づき、各教科において主権者・租税・消費者教育等を実施した 児童会・生徒会リーダー研修会を実施した。 市内各小中学校における西脇多可納税協会と連携した租税教室の開催した。	計画通り実施できた	G I G Aスクール構想で整備された1人1台端末を効果的に活用し、地域の課題に向き合った体験的な学習をさらに充実させる。
施策の基本方針(10)環境教育の推進				
主な取組・事業	体験を通じた環境教育（小）の推進	小学校3年生の総合的な学習の時間において、環境をテーマに栽培や調理等を通して体験的な学習活動に取り組んだ。	計画通り実施できた	体験から学んだことを地域に発信する等、取組をさらに充実させる。
主な取組・事業	学校園における資源リサイクル活動の推進	環境学習としてごみ処理場見学を行ったり、PTAによる資源ごみ回収を行ったりするなど、各学校園において資源リサイクル活動に取り組んだ。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動回数が減少する時期もあったが、今後も継続して実施していく。
施策の基本方針(11)多文化共生教育の推進				
主な取組・事業	日本語指導が必要な児童生徒への子ども多文化共生サポーターの派遣	日本語指導が必要な児童生徒への子ども多文化共生サポーターを100%派遣することができた。また、保護者との連絡・面談についても、多言語相談員（通訳）を派遣し、スムーズなコミュニケーションの支援を行った。	計画通り実施できた	日本語指導の対象となる児童生徒の国籍が多様化していることで、母語に応じた多文化共生サポーターの確保が課題となっている。
主な取組・事業	国際理解や異文化理解につながる体験活動の実施	小中学生とその保護者を対象に、にしわきジュニアじんけん教室を開催し、外部講師を招いた国際理解教室を開催した。また、地域住民と在住外国人との多文化共生交流会を実施し、体験的な異文化交流の機会をもった。	計画通り実施できた	にしわきジュニアじんけん教室の取組においては、体験やかかわり方等質の充実を図っていく。地区や自治会における交流会では、周知方法の工夫をし、参加者の増加を図りたい。

重点目標 1 社会の変化を前向きに受け止め、夢と志を持って可能性に挑戦する力を育成します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(12)オリンピック・パラリンピック教育の推進				
主な取組・事業	2020東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業	新型コロナウイルス感染状況の影響によりオーストラリア卓球チームの事前合宿は中止を余儀なくされた。また本事業に合わせ予定していた健幸卓球交流会も同感染症の影響で令和2・3年度は開催を見送ったが、4年度に本市卓球協会の協力を得て第2回目を開催し、生涯スポーツとしての卓球普及を行った。	課題が残った	一連の事業関連で整備した施設を有効活用するとともに、ホストタウン事業で連携した団体等との協力関係を維持することにより、生涯スポーツとしての卓球普及を目指す。
	卓球を通じた生涯スポーツの推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 卓球無料開放デいの継続 毎週金曜日 午後13:30~16:30 総合市民センター体育館 西村卓二卓球教室・選手権大会 令和元・3・4年度に実施(2年度中止) 令和4年度は教室に71名、大会に41チームが参加。 健幸卓球交流会 令和元・4年度に実施(2・3年度中止) 約400名が参加。 	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	<ul style="list-style-type: none"> 卓球無料開放では、利用者の増大を目指す。 西村卓二卓球教室及び選手権大会を令和5年度まで開催し、後年の事業について検討する。 健幸卓球交流会への参加者増大を目指す。
施策の基本方針(13)災害からの復興等持続可能な地域づくりのための教育の推進				
主な取組・事業	防災教育の推進 県教委副読本「明日に生きる」活用・1.17追悼集会行事等実施・学校防災マニュアルの見直し等	<ul style="list-style-type: none"> 学校防災マニュアルの見直しを全校実施。土砂水害想定区域の学校については、要配慮者避難確保計画を作成。 防災教育カリキュラムに県教委副読本を活用した授業の位置づけ。 1.17追悼集会、3.11追悼集会を各校実施。 	計画通り実施できた	学校防災マニュアルについて、火災及び地震だけでなく、大雨及び不審者対応等についても全校記載し、さらに活用できるマニュアルの作成を目指す。
	防災訓練の充実(火災・地震・Jアラート緊急地震速報対応、不審者対応等)	<ul style="list-style-type: none"> 消防署や警察署、近隣の高校と連携した防災訓練を行い、防災教育の充実につなぐ。 	計画通り実施できた	防災訓練での好事例を学校間で共有することや地域住民と訓練を行うこと等、充実した取組を目指す。

重点目標 1 社会の変化を前向きに受け止め、夢と志を持って可能性に挑戦する力を育成します。

Plan	Do	Check	Action	
施策の柱・施策の基本方針	実施内容	評価	課題・今後の方向性	
施策の柱3 健やかな体の育成				
施策の基本方針(1)子どもの健康の保持増進をはじめとする食育の充実				
主な取組・事業	学級担任や教科担当と栄養教諭等とが連携しつつ、効果的な食に関する指導の充実	毎月、給食連絡会を開催し、児童生徒の給食時間の様子や、献立内容について意見を出し合い最終の献立決定をしている。	計画通り実施できた	さらなる食育の推進を目的に、食育担当者会を開催し、各校の食育実践の情報交換等を行う。
	「早寝早起き朝ごはん」運動（元気アップ運動）の充実	一部の学校において、保健だより等を通じて「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発を行ったり、「朝ごはんを毎日摂っているか？」といったアンケート調査を実施し、調査結果に応じて適切な食育の指導を行った。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	全国学力・学習状況調査により、毎日、朝食を摂る児童生徒の割合（小6・中3）が9割を超える結果が出ている。ただし、「早寝早起き朝ごはん」運動の実施をできていない学校もあるため、今後「早寝早起き朝ごはん」運動（元気アップ運動）の充実を図っていく。
	my弁当づくり（地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」活動期間中）の推進	「トライやる・ウィーク」活動期間中に、1日以上自分で弁当を作るよう推進し、食育の充実を図った。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	飲食店等、my弁当を持参できない事業所については、対応は困難だが、その他の事業所については、継続して実施を推進していく。
	児童生徒の嗜好の偏りをなくすよう配慮した魅力あるおいしい給食の提供	給食については、子どもの栄養バランスを考え、また新メニューも取り入れる中で、味のバランスを調整しながら、おいしい給食の提供に努めている。特に令和4年度からは、日々のおかずごとの残菜率を調べ、残菜率の多いメニューについては、その原因を考え、次回の献立作成に生かしている。	計画通り実施できた	引き続き残菜率の調査を続けるとともに、時には学校での給食の様子も確認しながら、今後も、子どもたちに魅力あるおいしい給食が提供できるよう努めていく。
	給食調理における衛生・安全面の徹底及び適温での給食の提供	日頃から、県が作成した学校給食衛生管理マニュアルを遵守するとともに、令和4年度より学校薬剤師による給食センター調理場内の衛生点検を実施。各学校の給食棟の衛生管理についても、実施の方向で調整している。	計画通り実施できた	今後も継続的に学校薬剤師の協力を得ながら、衛生点検を適切に実施し、改善が必要と認められる場合は、必要な応急措置を講じ、計画的な改善を図る。
施策の基本方針(2)子どもの基本的な生活習慣の確立に向けた支援				
主な取組・事業	情報モラル研修（スマートフォン・インターネット）	各校において講演会を開催し、親子で学ぶ機会を設けるなど、研修の機会の定着が図られた。	計画通り実施できた	SNS環境の安全利用について浸透してきているが、自己コントロールする力が求められる。
	基本的な生活習慣の確立に向けた学校・家庭・地域の連携推進	児童生徒の実態把握を基に、各校区で開催する青少年健全育成会議で連携について協議した。	計画通り実施できた	児童生徒を取り巻く家庭環境の変容に関する課題が多様化している。
	青少年健全育成活動の推進	地域の実情に応じた課題について協議することができた。	計画通り実施できた	家庭環境の多様化に伴う新たな課題にフォーカスして協議し、具現化する必要がある。

重点目標 1 社会の変化を前向きに受け止め、夢と志を持って可能性に挑戦する力を育成します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(3)学校や地域における子どものスポーツの機会の充実				
主な取組・事業	「西脇市中学校運動部活動ガイドライン」の周知・推進	中学校の部活動状況調査を年1回実施して実態を把握し、ガイドラインの内容の推進に活用した。	計画通り実施できた	今後も、子どもたちが生涯にわたって豊かなスポーツライフを送ることができるよう、義務教育段階のスポーツの在り方を研究していく。
	小中学校体育年間指導計画の充実	「学び・指導の系統性、連続性を重視した小中一貫カリキュラム」を作成し、活用を進めた。	計画通り実施できた	今後も、小中一貫教育で求められる学びの系統性・連続性を踏まえた学習指導を実現するため、指導改善の方策を見直し、検証することにより、指導の充実に役立てることを目指していく。
	子どもの体育・スポーツ活動推進事業	今年度は、運動部活動の指導を担う教員の資質向上や指導の充実を図ることを目的として、体力向上トレーニング講座を実施した。また、県体力アップサポーターを活用した研修会を実施（マット運動、持久走、跳び箱運動）した。	計画通り実施できた	今後も、継続して研修会等を実施し、スポーツを楽しみながら、意欲と目標を持って体力向上に取り組む児童生徒を育てていく。
	スポーツ指導者・ボランティアの育成・確保・活用推進事業	スポーツ協会やスポーツ少年団等への施設優先予約や使用料の減免などの優遇措置により、市民のスポーツ活動を支援した。育成については、新型コロナウイルス感染の影響もあり、具体的な取組は行えていない。	課題が残った	若い世代の指導者不足により各団体とも指導者の高齢化が進んでいる。関連団体の連携等による次代の指導者確保が課題となっている。
施策の柱4 社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成				
施策の基本方針(1)各学校段階における産業界とも連携したキャリア教育・職業教育の推進				
主な取組・事業	キャリア教育の推進	市内特別活動担当者会（年2回）を実施し、キャリアパスポート及びキャリアノートを活用して推進した。キャリア教育指導計画について市内小中学校すべて作成した。	計画通り実施できた	今後は市内全体でのキャリア教育指導計画の作成、就学前との連携等、子どもが自分の将来を見据えることができるような取組を目指す。
	地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の充実	新型コロナウイルス感染感染予防を行いながら、制限を加えて実施した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	受入可能事業所数の減少等により、業種に偏りが生じている。また、バンク登録事業所数の減少に伴い、受入先の確保や継続した活動を行うための取組等の検討が必要である。
施策の基本方針(2)ふるさと意識を育む教育の推進				
主な取組・事業	愛郷精神を育成する機会の充実	小学3・4年生において社会科副読本「わたしたちのまち西脇市」を活用して、西脇市を地域を教材とした授業実践を実施した。「市長ふるさとを語る」事業を小学6年生と中学2年生を対象に実施した。	計画通り実施できた	令和5年度に社会科副読本を改訂し、令和6年度より新版を使用開始する。「市長ふるさとを語る」事業について、紹介する西脇市の資料の見直しを引き続き行い、児童生徒の実態にあったものにする。

重点目標1 社会の変化を前向きに受け止め、夢と志を持って可能性に挑戦する力を育成します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の柱5 家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進				
施策の基本方針(1)家庭の教育力の向上				
主な取組・事業	各種子育て支援事業との連携	幼児教育振興事業として、子育て支援団体と連携しながら、幼児及び児童を対象に舞台公演等を開催した。なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。	計画通り実施できた	関係団体と連携しながら、子育て支援ネットワークの構築を推進する。
	家庭教育に係るPTA・保護者等研修会の開催	新型コロナウイルス感染感染予防を行いながら、制限を加えて実施した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	今後のコロナ感染対策の動向を視野に入れた計画が必要である。
	PTCA活動支援事業の充実	PTCA活動支援事業西脇研究大会を開催した。なお、令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。	計画通り実施できた	家庭、学校及び地域との連携・協働を図るため、継続してPTCA活動を実施する。
	教育相談の充実	スクールカウンセラーによる保護者への教育相談を行った。	計画通り実施できた	教育相談時間帯の設定や、相談方法についてICT機器の活用を含めた改善が必要である。
	学校園と保護者をつなぐ学校園だよりの発行等の情報発信の充実	学校園の取り組みや、園児・児童生徒の活動の様子を周知し、教育活動の理解につなげた。	計画通り実施できた	連絡網システム「すぐー」の活用を充実させ、効果的な情報発信につなげる必要がある。
	保護者・地域・関係諸団体参加によるオープンスクール等の実施	新型コロナウイルス感染感染予防を行いながら、制限を加えて実施した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	今後のコロナ感染対策の動向を視野に入れた計画が必要である。
施策の基本方針(2)地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進				
主な取組・事業	地域学校協働本部事業（学校支援ボランティア）	家庭科のミシン補助やブックポケットの作製などを実施した。令和元年度は31回開催したが、令和4年度（R5.2.24現在）は60回開催し、約2倍に増加した。	計画通り実施できた	幅広い地域住民等の参画を通じ、推進を図る
	学校支援ボランティア登録の推進	令和元年度から令和4年度（R5.2.24時点）までに72人の登録があり、合計197人の登録となった。	計画通り実施できた	幅広い地域住民等の参画を通じ、推進を図る。
	地域における外部指導者の活用（出前授業）	コロナ感染予防との関連を踏まえ、授業時数の確保を図りながら、租税教室等を精選して実施した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	コロナウイルス感染拡大防止の対策の方向性や、これに伴う授業時数確保を鑑みながら実施する必要がある。
	地域に活かす「トライやる」アクション	新型コロナウイルス感染感染予防を行いながら、制限を加えて実施した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	活動可能なイベント等の減少に伴い、活動の機会が減少した。地域やイベント主催者へ周知する等、活動できる機会を確保する必要がある。

重点目標2 未来を見据え、地域社会の持続的な発展を実現するための多様な人材を育成します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の柱1 グローバルに活躍する人材の育成				
施策の基本方針(1)英語をはじめとした外国語教育の強化				
主な取組・事業	外国人英語指導助手の派遣	6人の外国語指導助手(ALT)を配置した。市内8小学校に5人(うち、3人は市内中学校3校をそれぞれ兼務)、市内4中学校に4人(うち、3人は市内小学校を兼務)	計画通り実施できた	今後も、国際化社会に対応する教育施策の一環として、児童生徒に外国語や外国の文化・生活にふれる機会を提供し、英語によるコミュニケーション能力を向上させ、国際感覚を養うことを目的としてALTを配置する。
	外国語教育に係る教員研修の開催	研修会を継続して実施し、英語指導の目標である4技能5領域における音声を中心とした指導方法や系統的な学びの連携について理解を深めた。また、授業研究を実施し、県立教育研修所より指導主事を招き、授業力向上を図った。	計画通り実施できた	今後も研修会を継続して実施し、英語指導の目標である4技能5領域における音声を中心とした指導方法や系統的な学びの連携について、小・中学校教員で研修し、授業力向上を図っていく。
施策の柱2 生きる土台となる芸術・文化・スポーツの推進				
施策の基本方針(1)文化・芸術活動の充実・支援				
主な取組・事業	質の高い魅力ある文化・芸術イベントの開催	市民会館や市民交流施設において文化芸術事業を開催した。令和3年5月にオープンした市民交流施設では、劇団四季ファミリーミュージカルを2年連続で開催するなど質の高い文化芸術事業に触れる機会を提供することができた。	計画通り実施できた	関係団体と連携し、引き続き魅力ある文化芸術事業を実施する。
	文化団体の活動支援	照楓会や芸能まつりなど市文化連盟活動の支援を実施した。なお、コロナにより照楓会は令和2年度及び令和3年度、芸能まつりは令和3年度中止した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	伝統ある文化芸術活動を継続支援する。
	文化団体の人材育成支援	令和3年度、市文化連盟に混声Còroアピカが入会し、23団体となった。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	高齢化により人材育成が急務であるため、人材の確保に努める。
施策の基本方針(2)文化施設の充実・整備				
主な取組・事業	文化施設の整備・機能の充実	指定管理者制度を活用し、(公財)西脇市文化・スポーツ振興財団による効果的・効率的な施設運営を行った。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	指定管理による施設の運営を継続する。
	市民交流施設の整備及び運営手法の検討	令和3年5月に市民交流施設を整備し、公共文化施設の運営に実績のある指定管理者を指定した。	計画通り実施できた	施設の運営手法に実績のある指定管理者による施設運営を引き続き実施する。
	公益財団法人西脇市文化・スポーツ振興財団の連携強化	新規文化芸術事業に取り組み連携強化を図った。	計画通り実施できた	市民交流施設と他の文化施設の連携を図ることができる文化芸術事業を検討する。

重点目標2 未来を見据え、地域社会の持続的な発展を実現するための多様な人材を育成します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(3)個々のスタイルに応じた生涯スポーツの推進				
主な取組・事業	各種スポーツ団体の連携強化及び組織再編等	高齢化による指導者不足が懸念される中、連携の必要性は感じるが、各団体間の調整等、具体的な取り組みには至っていない。	課題が残った	高齢による引退等で各種団体の指導者が減少しているため、スポーツ協会やスポーツ推進委員会を中心に、スポーツ関係機関相互の連携強化を図り、活動の維持継続に向けた取組を進める。
	スポーツ教室の開催	令和元年度は予定の9教室全てで開催。新型コロナウイルス感染の影響により2年度は4教室、3年度は3教室となったが、4年度は7教室を実施した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	対象となる9教室すべての開催を目指す。
	スポーツ大会等の開催及び協力	市民スポーツ大会で令和元年度は17協会全てが大会を実施。新型コロナウイルス感染の影響により令和2年度11協会、3年度11協会、令和4年度は14協会が大会を実施した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	対象となる17協会すべての大会開催を目指す。
	スポーツ活動や健康づくりの情報発信	スポーツ教室参加者募集やプロスポーツの開催案内、またウォーキング会、市民ハイキング等の開催案内を広報誌やホームページで情報提供することにより、市民の意識向上を図った。	計画通り実施できた	広報紙や防災無線、WEB上でスポーツ団体等の活動情報を関係課とも連携し幅広く発信する。
施策の基本方針(4)スポーツを支える環境の整備				
主な取組・事業	各種スポーツ団体の連携強化及び組織再編等	高齢化による指導者不足が懸念される中、連携の必要性は感じるが、各団体間の調整等、具体的な取組には至っていない。	課題が残った	高齢による引退等で各種団体の指導者が減少しているため、スポーツ協会やスポーツ推進委員会を中心に、スポーツ関係機関相互の連携強化を図り、活動の維持継続に向けた取組を進める。
	スポーツ関係団体、ボランティアの育成、支援	スポーツ協会やスポーツ少年団等への施設優先予約や使用料の減免などの優遇措置により、市民のスポーツ活動を支援した。育成については、新型コロナウイルス感染の影響もあり、具体的な取組は行えていない。	課題が残った	若い世代の指導者不足により各種団体とも指導者の高齢化が進んでいる。関連団体の連携等により次代の指導者確保が課題となっている。
	スポーツ施設の計画的な改修及び備品整備	屋内体育施設の耐震化や老朽設備の計画的な整備のため優先順位をつけ事業計画した。	課題が残った	引き続き整備に向けて取り組む。

重点目標2 未来を見据え、地域社会の持続的な発展を実現するための多様な人材を育成します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の柱3 スポーツ・文化等多様な分野の人材育成				
施策の基本方針(1)継続的な生涯スポーツの推進や支える人材の育成				
主な取組・事業	スポーツ指導者・ボランティアの育成・確保・活用推進事業	スポーツ協会やスポーツ少年団等への施設優先予約や使用料の減免などの優遇措置により、市民のスポーツ活動を支援した。 育成については、新型コロナウイルス感染の影響もあり、具体的な取り組みは行っていない。	課題が残った	若い世代の指導者不足により各団体とも指導者の高齢化が進んでいる。関連団体の連携等による次代の指導者確保が課題となっている。
	スポーツ教室の開催	令和元年度は予定の9教室を全て開催。新型コロナウイルス感染の影響により2年度は4教室、3年度は3教室となったが、4年度は7教室を実施した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	対象となる9教室すべての開催を目指す。
施策の基本方針(2)芸術家等の養成、文化芸術振興策の推進				
主な取組・事業	新進芸術家養成に向けた機会の提供	岡之山美術館での新進芸術家による企画展を開催するとともに、音楽ホールではフレッシュコンサートを開催した。	計画通り実施できた	新進芸術家に対する研修機会や研修の成果を還元する機会を引き続き提供する。
	文化・芸術事業の企画運営を行うための専門的人材の育成	令和2年度までにアートサポーターについての計画を進め、令和3年度から活動実施、令和4年度にはカルチャーミックス事業を開催した。	計画通り実施できた	活動参加率を高め、市民にとって魅力ある文化・芸術イベントの企画力向上を図る。
	魅力ある多彩な文化が育まれる環境整備の推進	音楽ホールにおいて、継続して弦楽アンサンブル教室を開催した。また、高度な文化芸術に触れる機会として、令和3年度と令和4年度に劇団四季ファミリーミュージカルを開催した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	弦楽アンサンブル教室における参加者の確保に課題があるため、参加者が増加するよう努める。

重点目標3 生涯学び、人生を豊かに生きられる環境を整えます。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の柱1 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進				
施策の基本方針(1)現代的・社会的な課題に対応した学習等の推進				
主な取組・事業	現代的・社会的課題に対応するためのセミナー等学習機会の提供	出前講座により、市民ニーズに応じた学習機会を提供した。 【講座件数】(R5.2.24現在) R4 44件 R3 26件 R2 8件 R1 10件	計画通り実施できた	出前講座を継続するとともに、社会課題の変化に応じた講座の開設に努める。
施策の基本方針(2)女性活躍推進のためのリカレント教育の強化				
主な取組・事業	女性活躍推進のためのリカレント教育・生涯学習講座の提供の実施	女性活躍を推進するための講演会やセミナー等を開催。令和4年度からは、意思決定の場への女性の参画促進を目的に「にしわき女性リーダー養成講座」を新たに実施した。	計画通り実施できた	社会や地域の中における女性活躍を推進するため、引き続き利用者ニーズに沿った講座等を実施していく。
	男女共同参画センターと連携した復職や再就職、起業セミナーの実施	女性のキャリア形成支援として、再就職、起業等をテーマとして様々なセミナーや個別相談を開催、きめ細かな支援を実施した。 【女性活躍推進のための講座・セミナー参加者数】 R3 156人	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	新型コロナウイルス感染症等の影響で、参加者数が伸び悩むこともあった。事業実施に当たっては、関係団体と連携し広く周知をするほか、オンラインでの開催等も実施していく。
施策の基本方針(3)高齢者等の生涯学習の推進				
主な取組・事業	西脇高齢者の大学の充実・活性化	・令和4年度に西脇シニアカレッジに名称も変更し、若々しく積極的に活動する学園へのイメージ転換を目指した。 ・新しい講座を開設し、取組み巾を広げることに努めた。	計画通り実施できた	・講座開設などを通じてのイメージ転換については、これからの課題である。 ・学生数増加が活性化のためには不可欠であり、今後の課題となっている。
	高齢者向き生きがい・活躍セミナーの実施	・地域貢献のための具体的な取組の進め方など実践的な講座を実施してきた。 ・地域貢献にとどまらない高齢者によるまちづくりを視野に入れた講座も開催できた。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	・左記の講座へ参加者の増加が課題である。より多くの学生参加のために方策を検討する必要がある。

重点目標3 生涯学び、人生を豊かに生きられる環境を整えます。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(4)ライフステージに応じたスポーツ活動の推進				
主な取組・事業	各種スポーツ団体の連携強化及び組織再編等	高齢化による指導者不足が懸念される中、連携の必要性は感じるが、各団体間の調整等、具体的な取組には至っていない。	課題が残った	高齢による引退等で各種団体の指導者が減少しているため、スポーツ協会やスポーツ推進委員を中心に、スポーツ関係機関相互の連携強化を図り、活動の維持継続に向けた取組を進める。
	スポーツ教室の開催	令和元年度は予定の9教室を全て開催。新型コロナウイルス感染の影響により2年度は4教室、3年度は3教室となったが、4年度は7教室を実施した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	対象となる9教室すべての開催を目指す。
	スポーツ大会等の開催及び協力	市民スポーツ大会で令和元年度は17協会全てが大会を実施。新型コロナウイルス感染の影響により令和2年度11協会、3年度11協会、令和4年度は14協会が大会を実施した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	対象となる17協会すべての大会開催を目指す。
	スポーツ活動や健康づくりの情報発信	スポーツ教室参加者募集やプロスポーツの開催案内、またウォーキング会、市民ハイキング等の開催案内を広報誌やホームページで情報提供することにより、市民参加の意識向上を図った。	計画通り実施できた	広報紙や防災無線、WEB上でスポーツ団体等の活動情報を関係課とも連携し幅広く発信する。
	おりひめ体操など軽運動の普及	出前講座において健康サロンとして取り組んできたが、新型コロナウイルス感染の影響により申し込みが減少した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	体操等の要望は以前から少ない。要望があれば対応するが、令和3年度からユニバーサルスポーツの普及を兼ね、ポッチャやアジャタバスケットを活用した軽運動の普及を図っている。
施策の基本方針(5)生涯を通じた文化芸術活動の推進				
主な取組・事業	市民会館（市民交流施設）・音楽ホール等での文化・芸術の公演、展示等の事業の充実、機会の拡大	市民会館や市民交流施設において文化芸術事業を開催した。令和3年5月にオープンした市民交流施設では、劇団四季ファミリーミュージカルを2年連続で開催するなど質の高い文化芸術事業に触れる機会を提供することができた。	計画通り実施できた	関係団体と連携し、引き続き魅力ある文化芸術事業を実施する。
	若年層の文化・芸術活動の担い手の育成	令和2年度までにアートサポーターについての計画を進め、令和3年度から活動実施、令和4年度にはカルチャーミックス事業を開催した。	計画通り実施できた	若年層の活動参加率を高め、文化・芸術活動の促進を図る。

重点目標3 生涯学び、人生を豊かに生きられる環境を整えます。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(6)西脇市図書館における生涯を通じた自主学習の支援と読書活動の推進				
主な取組・事業	資料・情報・レファレンスサービスの提供	資料の貸出 年平均371,597冊 レファレンス件数 年平均 12,339件	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	利用の拡大に向けて、利用者のニーズに合った資料の充実を図っていく。
	ブックスタート事業の推進	出生届時に絵本を1冊配布 10か月児乳児相談時に絵本1冊配布	計画通り実施できた	引き続き実施する。
	図書団体貸出の充実	学校園への貸出 年平均 14,368冊 学校園への図書運搬業務委託数 年平均 533件 学校園以外への貸出 年平均 2,832冊	計画通り実施できた	引き続き実施するとともに、未実施の学校園等にさらに利用を働き掛けていく。
	図書館定期講座の開催及び学校園への出張読み聞かせ等	おはなし会 毎週水、土曜日開催 読み聞かせボランティア養成講座実施 学校園への出張おはなし会実施 読書会、ビブリオバトル 概ね毎月1回実施	計画通り実施できた	引き続きこれまでの各事業を実施していくとともに、今後図書館利用に繋がる新たな事業の企画を検討していく。
施策の柱2 人権意識の高揚を図る人権教育の推進				
施策の基本方針(1)人権に関する学習機会の充実				
主な取組・事業	「人権文化をすすめる市民運動」推進強調月間講演会の実施	市内8地区で人権講演会を開催した。令和4年度は、ハイフレックス型(参集型+オンライン配信)で実施し、参加者数1,509人となった。	計画通り実施できた	参集型とオンライン配信を組み合わせたハイフレックス型の開催方式により、若い世代(20から40代)の参加を促していく。講師やテーマについても、マンネリ化しない選定をする。
	人権教育推進リーダー(人権教育推進委員・推進員)の育成	人権教育推進委員(各地区)15人と人権教育推進員(各町・区)111人を委嘱し、研修会や人権イベントへの参加を通して、人権教育を推進する市民リーダー育成に取り組んだ。	計画通り実施できた	受身の参加でなく、推進委員・員が能動的に参加できる学習機会を通して、知識だけの学びではなく、意識・意欲・態度を育てる取組にしたい。
	体験や交流活動を取り入れた学習機会の提供	聴覚障害者協会の協力で開催する手話体験や、スポーツ推進員とコラボするパラスポーツ体験、在住外国人との料理や遊びを通じた交流など参加の動機付けや気づきを生む工夫をした学習会開催に取り組んだ。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	地域人材や団体と連携し、参加の動機付けや気づきを生む工夫をした学習会開催をしたい。
	西脇市人権教育協議会や各地区人権教育協議会の活動支援	8地区で開催する人権講演会や地区研修会、73の町・区・集落別で実施する学習会では、市民の主体的な取組をサポートできるよう取り組んだ。	計画通り実施できた	参加体験型やワークショップ型の内容を企画し、内容の充実を図りたい。また、自治会と協力し、若い世代や女性の参加者を増やす工夫を図りたい。

重点目標3 生涯学び、人生を豊かに生きられる環境を整えます。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(2)人権教育・啓発のための情報の提供				
主な取組・事業	人権教育啓発資料「ゆきちゃんからのメッセージ」「ゆきちゃんからのメッセージ広報版」の作成・配布	令和元年度からは、人権啓発パンフレット「Flat～心の視線の向こうに～」を4月に発行し、約16,000部を全戸配布している。「人権文化をすすめる市民運動」強調月間の8月には、市民から募集した人権作品を掲載したパンフレットを作成し、啓発に取り組んだ。	計画通り実施できた	人権を尊重する市民の取組を紹介し、読者に人権を身近なことから捉えてもらえる紙面構成の工夫を図る。紙面の一部については、市民（人権教育推進委員）が発信するページとして活用する。また、人権に関するニュースや新しい制度についてもいち早く啓発する。
	人権作文、人権標語、人権ポスター等による周知・啓発活動	小中学生を対象とした人権作文の取組は、地区人権講演会での朗読や、作文集「なかま」の作成・配布を行った。また、人権ポスターを募集し、市民の人権意識を高める活動として取り組んだ。	計画通り実施できた	市民参加型の活動として作品を募集し、自分やまちづくりと人権の在り方について考える機会に資する。募集する作品ジャンルや応募作品を活用した啓発方法について、工夫する必要がある。
施策の柱3 人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進				
施策の基本方針(1)新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策の検討				
主な取組・事業	社会教育・生涯学習施設の機能強化・活性化の推進	社会教育・生涯学習施設の維持管理に努めたが、機能強化には至っていない。	課題が残った	社会教育・生涯学習施設の維持管理に努め、施設の有効活用ができるよう検討する。
	ライフステージ等に応じた学習機会の充実	各種講座を開設することにより、学習機会を提供した。（年間10講座開催）	計画通り実施できた	社会教育の課題解決に応じた講座等について検討する。
	学びと実践の一体化の視点に立った学習活動の支援	自主運営講座の実施やシニアカレッジにおける地域活動支援講座を開設した。（自主運営講座数11講座、シニアカレッジ地域活動支援講座年間6回開催）	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	自主運営講座及びシニアカレッジにおける地域活動支援講座の拡充を図る。
	生涯学習アニメーターバンクの充実	生涯学習アニメーターバンクの活用には至らなかった。	課題が残った	生涯学習のリーダーを創出するため、制度の再構築を図る。
	生涯学習推進計画の策定の検討	令和3年3月に西脇市生涯学習推進計画を策定した。	計画通り実施できた	西脇市生涯学習推進計画に基づき事業を実施する。
施策の基本方針(2)施設の複合化や多様な資金調達等も活用した持続可能な社会教育施設の運営				
主な取組・事業	公共施設等総合管理計画に基づく施設運営の在り方の検討	公共施設管理計画に基づき、播磨内陸生活文化総合センターを改修した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	公共施設管理計画に基づき、維持を決定した施設について、適切に管理していく。
	施設の老朽化等による中長期的な改修計画・資金調達等の検討	公共施設管理計画に基づき、播磨内陸生活文化総合センターを改修した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	公共施設管理計画に基づき、維持を決定した施設について、適切に管理していく。
	学習機会の提供や多様な市民ニーズに対応できる施設整備の推進	既存施設の有効活用に努めた。	課題が残った	市民ニーズの把握に努め、既存施設の有効活用に努める。

重点目標3 生涯学び、人生を豊かに生きられる環境を整えます。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の柱4 障害者の生涯学習の推進				
施策の基本方針(1)学校卒業後における障害者の学びの支援				
主な取組・事業	障害に応じた生涯学習プログラムの実施体制の研究等	視覚障害者の生涯学習として、播磨東「青い鳥学級」北支部（北播磨管内5市1町で持ち回り）への参加	計画通り実施できた	今後もボランティアの方々の協力を得ながら、視覚障害者への生涯学習を推進するとともに、福祉担当部局と連携し、障害者への学びの支援を継続する。
施策の基本方針(2)地域における支援機関との連携				
主な取組・事業	NPO法人、地域公民館における学習・体験プログラム活性化	NPOによる地域での障害者支援の活動に対し、事業を後援するなど活動を支援した。	課題が残った	NPO等とのさらなる連携・協力体制の構築に努める。
	障害のある児童生徒への学習・体験機会の情報提供	保護者及び学校の間い合わせに対し、支援体制が充実した学習場所や体験活動の案内を行った。	計画通り実施できた	今後は、問い合わせを待つだけでなく、保護者や学校への発信を充実する。
施策の基本方針(3)切れ目ない支援体制構築に向けた特別支援教育の充実				
主な取組・事業	地域・保護者への研修・啓発機会の充実	各校への地域特別支援コーディネーターによる巡回指導訪問を基に、支援体制や方法について協議・助言を行った。	計画通り実施できた	就学前の子どもを持つ保護者への支援方法の理解・啓発を充実させる必要がある。
	教育支援委員会に係るヒアリング・面談の充実	教育支援委員会事前ヒアリングを市内こども園（8園）、しばざくら幼稚園、市内小中学校（12校）すべてに実施。特別な支援を要する幼児児童生徒について就学相談及び支援について特別支援学校コーディネーターを含めた教育支援員より助言等を行うことができた。	計画通り実施できた	状況を適切に把握し、個々の教育的ニーズに沿った就学先の決定や特別の教育課程編成につながるようさらに各校園のヒアリング内容の充実を図る。
	「西脇市サポートファイル」の活用	サポートファイルを所持していない児童生徒については、作成の意義や進め方等について助言し、継続的な支援につながるよう取り組んだ。	計画通り実施できた	さらに活用を充実させるため、記載内容の精選を行う等、活用しやすくなるよう改善する。

重点目標3 生涯学び、人生を豊かに生きられる環境を整えます。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(4)障害者スポーツ、障害者の文化芸術活動の振興等				
主な 取組 ・ 事業	バリアフリー等障害者にやさしい施設環境整備の促進	2020東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業決定による補助金等により、総合市民センター体育館の照明、トイレ、シャワー室等大規模改修とともにユニバーサル化を実施した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	その他の屋内体育施設において、耐震化工事に合わせ施設整備を図る。
	障害者の継続的なスポーツの実施促進のための環境整備の促進	令和3年度はボッチャ、4年度はアジャタバスケットボールセットを購入。スポーツ推進委員の協力を得て障害者を含めたユニバーサルスポーツに親しむ環境を整えた。	計画通り実施できた	より多くの市民に体験していただける機会を確保する。
	障害者の文化・芸術活動の発表の場の提供及び公演等鑑賞しやすい施設環境整備の推進	市民交流施設を整備した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	市民交流施設以外の文化施設における環境整備を検討する。
	にこにこスイミング教室や障害者スポーツ体験教室等の開催	ニコニコスイミングについては、毎年定員となる25名の参加。障害者スポーツ体験教室については要望により出前講座で実施した。	計画通り実施できた	要望に応じて事業を継続する。
	ユニバーサルデザインスポーツ交流事業（仮称）	令和3年度に購入したボッチャを活用し出前講座で普及を図り、4年度に第1回目となるボッチャ交流大会を実施した。	計画通り実施できた	ボッチャ及びアジャタバスケットを活用した出前講座等で普及啓発し交流大会を継続して開催する。

重点目標4 自己の可能性の追求が、誰にも保障される学びのセーフティネットを構築します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の柱1 家庭の経済状況や地理的条件への対応				
施策の基本方針(1)教育へのアクセスの向上、教育費負担の軽減に向けた経済的支援				
主な取組・事業	3歳から5歳児の保育料の無償化・軽減	平成元年10月利用分から保育料の無償化を実施 ・3歳から5歳児 ・住民税非課税世帯の0歳から2歳児 国、県制度による保育料の軽減を実施	計画通り実施できた	継続実施し、子育て世帯の経済的負担を軽減する。
	就学援助事業	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助を行い、児童生徒が安心して教育を受ける機会を保障することができた。	計画通り実施できた	認定に係る基準額については、生活保護基準額を基に毎年見直しを行うとともに、今後とも援助が必要な児童生徒に支援が行えるよう、学校や福祉部局と連携を行う。
	奨学金貸付事業	利用者数減少及び独立行政法人日本学生支援機構の奨学金貸付制度の充実に伴い、令和3年度、貸付制度を廃止した。	計画通り実施できた	貸付制度の廃止後、返還事務のみが残っており、出来るだけ早い段階で事業を完了することが課題である。引き続き、積極的に滞納整理に努める。
施策の基本方針(2)学校教育における学力保障・進路支援、福祉関係機関等との連携強化				
主な取組・事業	スクールサポーター・放課後学習支援員の配置による補充学習の充実	・スクール・サポート・スタッフを小中学校各1名配置した。 ・学習支援員については、配置できる上限時間数を、クラス数等を踏まえて決定し、すべての学校に配置した。	計画通り実施できた	・学校業務軽減につながっており、今後も継続して配置したい。 ・今後も学習支援員を継続して配置し、児童生徒に対して学習等の支援を行い、基礎・基本や学習習慣の定着等、課題の改善を図っていく。
	県立特別支援学校との連携強化（北はりま特別支援学校）	北はりま特別支援学校コーディネーターによる巡回指導訪問を年2回実施、必要があればコンサルテーションを行い、特別な支援が必要な児童生徒の実態把握や指導方法等の充実を図った。	計画通り実施できた	通常の学級に在籍している特別な配慮や支援を要する児童生徒は、年々増加傾向であるため、特別支援教育の視点から授業を行う等、今後もさらに特別支援教育に関する取組を啓発する必要がある。
	福祉部門との連携強化	児童生徒を取り巻く家庭環境の変化により、関係各課がきめ細かな連携を実施した。	計画通り実施できた	児童生徒を取り巻く家庭環境の変化により、連携すべき事例が年々増加している。
	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの小中学校への配置	県教委からの配置に加え市独自の配置を行い、効果的な相談体制を構築した。	計画通り実施できた	各校の現状に即した配置先の見直しを行い、効果的な運用を図る必要がある。
	少人数加配教員・放課後学習支援員の効果的な活用	学校指導訪問等において、各校の取組の状況を把握するとともに、推進内容や推進方法について管理職に周知徹底し、効果的な活用と指導体制の充実を図った。	計画通り実施できた	今後も学校指導訪問等を継続して実施し、各校の取組の状況を把握するとともに、推進内容や推進方法について管理職に周知徹底し、効果的な活用と指導体制の充実を図っていく。

重点目標4 自己の可能性の追求が、誰にも保障される学びのセーフティネットを構築します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(3)地域の教育資源の活用				
主な取組・事業	NPO法人、地域公民館による学習・体験プログラムの活性化	日常的な児童生徒への学習支援や長期休業中の体験活動講座を開催した。	計画通り実施できた	開催回数が校区間で差異があるため、機会均等を図る必要がある。
	兵庫教育大学との連携強化（放課後学習支援等への活用）	兵庫教育大学のボランティアセンターと連携して放課後学習支援員の募集を行った。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	通年を通して、活動ができる人材確保が課題である。今後もボランティアセンターとの連携をさらに深めて人材募集を行っていく必要がある。
施策の基本方針(4)地域の特色を生かし、学校・家庭・地域が連携した食育の推進				
主な取組・事業	学校給食の安定的に継続した提供の推進	正規調理員が定年退職等で自然減となる中、令和3年度より調理業務委託を委託したことで、安定的に継続した給食が提供できている。	計画通り実施できた	今後も引き続き、安定的に給食の提供に努める。
	学校給食摂取基準に配慮した給食の提供	令和元年度から令和4年度2学期までの栄養摂取基準は100%を満たす献立内容で提供できている。	計画通り実施できた	今後も、栄養摂取基準に達するよう栄養面に配慮した給食の提供に努める。
	学校給食における地産地消の推進	毎月地元の野菜生産者グループの例会を開催しており、令和元年度は18.8%、令和2年度は24.5%、令和3年度が19.9%、令和4年度2学期までが、20.4%となっており、天候によって大きく左右された年もあるが、ほぼ目標値を満たしている。	計画通り実施できた	今後も、野菜生産者グループの協力を得ながら、20%の目標値の達成に努めたい。
	学校における食育授業の推進	令和元年度から令和4年度までの食育授業の回数は90回をクリアしており、加配の栄養教諭の配置や調理業務を委託したことで、学校に行きやすい環境となっている。	計画通り実施できた	今後も、学校側が希望する施設見学等を積極的に受け入れ、調理員と連携した食育授業を展開する。
	給食費滞納解消対策	毎年1～2回学校主幹級いで構成する学校給食滞納対策会議の開催や令和2年4月から給食費の再振替に着手したことで、滞納額が減少している。また複数滞納者には、早め早めの電話催告や戸別訪問によって、滞納額が膨らみすぎないように取り組んでいる。	計画通り実施できた	今後も学校とも連携を図りながら、電話による催告や訪問徴収を実施し、滞納対策に努めたい。

重点目標4 自己の可能性の追求が、誰にも保障される学びのセーフティネットを構築します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(5)児童生徒数が継続的に減少する地域における教育環境整備				
主な取組・事業	小規模特認校制度の検証	体験入学、スクールバスの運行など、小規模特認校制度の周知、利用促進を図った。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	複式学級の解消という課題が残ったが、学習環境規模の適正化と並行しながら、今後も継続して事業を行っていく。
	臨床心理士の派遣等	年2回の情報交換会を実施し、児童生徒の実態に即した臨床心理士の役割について協議した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	大規模災害発生時の臨床心理士の配置の具体について平素より共有しておく必要がある。
主な取組・事業	就学援助事業	災害等により、就学援助が必要となった児童生徒はいなかった。	計画通り実施できた	豪雨や地震発生等で児童生徒が被災した際には、速やかに就学支援が行えるよう学校等と情報共有及び連携を図る。
	施策の柱2 多様なニーズに対応した教育機会の提供			
施策の基本方針(1)特別支援教育の推進				
主な取組・事業	特別支援教育に係る相談窓口の周知	西脇子育て支援ガイドブックに学校教育課が相談窓口であることを掲載するとともに各学校園においても周知を図った。	計画通り実施できた	特に就学先について窓口を一本化したことで、学校園や保護者に対して一貫性ある説明ができたが、今後は担当が不在の場合の対応を検討し、充実を図っていく。
	教育支援委員会に係る事前ヒアリングの充実	教育支援委員会事前ヒアリングを市内こども園(8園)、しばざくら幼稚園、市内小中学校(12校)すべてに実施。特別な支援を要する幼児児童生徒について就学相談及び支援について特別支援学校コーディネーターを含めた教育支援委員より助言等を行うことができた。	計画通り実施できた	状況を適切に把握し、個々の教育的ニーズに沿った就学先の決定や特別の教育課程編成につながるようさらに各学校園のヒアリング内容の充実を図っていく。
	介助員の配置	各校に介助員配置希望を実施し、特別支援学級及び通常の学級の支援が必要な児童生徒に介助員の配置を行った。令和4年度については小学校に30名、中学校に11名を配置し、介助員を効果的に活用できた。	計画通り実施できた	介助員の配置人数は十分であると考えているが、今後は支援内容の充実をさらに図るため、研修内容の工夫を行っていく。
	地域・保護者・教員に係る啓発研修	令和4年度は特別支援教育に関わる教職員に対して特別支援教育基礎研修(8月)、特別支援教育専門研修(8月中)を実施し、特別支援教育の視点から行う授業づくりについて理解を深めた。	計画通り実施できた	今後は保護者が特別支援教育に対する理解を深めることができるよう、研修等を計画し、啓発を行っていく。

重点目標4 自己の可能性の追求が、誰にも保障される学びのセーフティネットを構築します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
主な取組・事業	支援の必要な子どもに係る「西脇市サポートファイル」の作成	北はりま特別支援学校コーディネーターによる巡回指導訪問を年2回行い、サポートファイルを所持していない児童生徒については作成の意義や進め方等について助言し、作成に向かえるようにできた。	計画通り実施できた	特別な支援を必要とする児童生徒の多くがサポートファイルを所持しているが、今後は内容をさらに充実させ、継続的な支援につながるよう取り組んでいく。
	施策の基本方針(2)不登校児童生徒の教育機会の確保			
	適応指導教室「はればれ教室」事業	進学や学校復帰、社会的自立に向け、学習指導や生活指導を行った。	計画通り実施できた	通級児童生徒の在籍校との連絡を密にし、連携を充実させる。
	不登校問題等研修会の充実	年2回の研修会を開催。多くの教員の出席があり、不登校課題についての理解を深めることができた。	計画通り実施できた	研修会での事例発表者を絞り込み、今日的な課題解決をねらいとした研修会とする。
	教育相談体制の充実	センター配置カウンセラーと専任教育相談員により、多くの保護者や教職員の相談に対応した。	計画通り実施できた	連携のスピード感を高め、より具体的な対応を可視化していく必要がある。
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との密接な連携	全てのスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる連絡会を開催し、情報の共有を図ることができた。	計画通り実施できた	配置校での課題解決手法を市内全校で日常的に共有する仕組みを構築する。	
施策の基本方針(3)高等学校中途退学者等に対する支援				
主な取組・事業	高等学校、中学校との情報交換による高等学校中途退学者の把握	多可西脇補導連絡会において、中高の情報交換を行った。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	私立高校等への進学者についての把握に困難があり、個人情報についての取り扱いに課題がある。
	高等学校中途退学者に対する教育相談等の情報提供	青少年センター教育相談と福祉部局が連携して行	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	相談に訪れない中途退学者への支援に課題がある。
	高等学校中途退学者を出さないための進路指導の充実	中学校段階において進路指導の一貫として実施し	計画通り実施できた	高校進学以降の進路変更について、選択肢があることを周知する必要がある。

重点目標5 教育施策推進のための基盤を整備し、教育成果を共有します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の柱1 新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備等				
施策の基本方針(1)教員指導体制の整備				
主な取組・事業	市教育委員会指定の研究の実施	教職員の自主的・自発的な研究としての「がんばる先生応援事業」において、市教委が目指す研究課題内容を指定し推進を図った。	計画通り実施できた	研究指定校の削減・適正化を図る県教委の方向性に準じ、効果的な研究を推進していく必要がある。
	教育相談事業	心理的安定につなげるため、積極的にカウンセリングにつなげることに務めたことにより、相談件数が年々増加した。	計画通り実施できた	社会の変化に伴う課題の多様化に対応できる教育相談体制の構築が必要である。
施策の基本方針(2)教員の指導環境の充実				
主な取組・事業	「ノー会議デー」、「ノー部活デー」、「定時退勤日」の推進	「ノー会議デー」、「ノー部活デー」、「定時退勤日」を設定し、時間外勤務の削減を図った、	計画通り実施できた	職員の定時退庁を図り、時間外勤務時間の削減のため今後も継続し実施していく必要がある。
	学校閉庁実施（8月）	8月に3日間連続して学校閉庁日を設定した。	計画通り実施できた	職員の計画的な休暇の取得を促進するため今後も設定していく必要がある。
	「部活動指導員」の派遣	市内中学校の4つの運動部に部活動指導員を派遣し、部活動に係る教員の負担軽減を図った。	計画通り実施できた	地域クラブ活動への移行に向けて、学校部活動の地域連携をさらに推進する。
	教員研修会の一体的マネジメント	経験年数や職位に応じた研修プログラムの開発を図った。	計画通り実施できた	教職員の研修記録を一元管理し、資質能力の育成に向けた個別最適化を図る必要がある。
施策の基本方針(3)これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上				
主な取組・事業	学習指導要領の円滑実施に向けた指導体制の充実	指導主事の担当教科等を明確にすることで、担当者における研究授業等に対して継続的に指導する体制を充実させた。	計画通り実施できた	各教科を担当する指導主事間の情報共有、方向性の確認を充実することで、さらに効果的な指導方法について研究を進める。
	教員階層別・職種別研修（初任・中堅・円熟期、職種）の充実	現在の教育課題に即したプログラムを職位や経験年数に応じて設定した。	計画通り実施できた	個別最適な学びとなるよう、教員が自身の資質向上プランを持ちながら研修を行える仕組みを構築する。
	管理職研修（校長・教頭）の充実	教育課題に関する法的対応や小中一貫教育に関する課題の研修を実施した。	計画通り実施できた	社会の価値観の変化に伴い学校現場に求められる対応が多岐にわたることへの課題解決を行う必要がある。
	今日的な課題研修の充実	各校区の実態や実情に合わせた研修を実施することができた。	計画通り実施できた	地域住民も参加する研修には、時間設定に課題があること等から、オンライン等のICTを活用したスタイルも視野に入れる必要がある。

重点目標5 教育施策推進のための基盤を整備し、教育成果を共有します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の柱2 ICT利活用のための基盤の整備				
施策の基本方針(1)情報活用能力の育成				
主な取組・事業	ICT教育の推進	「学びの系統カリキュラム」に「教科指導を支えるICT活用等」を位置付け、各教科におけるICT活用の推進を図った。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	1人1台端末の日常的な活用が課題となっています。情報活用能力の育成のためには、児童生徒が1人1台端末を日常的に活用することが必須であると捉え、効果的な活用法について研究を進める。
	プログラミング教育の推進	情報教育研究グループにおいて情報共有し、「兵庫県版プログラミング教育スタートパック」を参考に指導方法の研究を行った。	計画通り実施できた	今後、児童生徒の実態に合わせて、継続的に指導内容を更新する。
	情報活用能力系統表（西脇市版）の作成	情報教育研究グループにおいて「西脇市版情報活用能力体系表（令和5年3月版）」を作成した。	計画通り実施できた	今後、児童生徒の実態に合わせて、継続的に体系表の内容を更新する。
	情報活用能力の指導法についての情報提供	「西脇市版情報活用能力体系表（令和5年3月版）」と合わせて、指導事例の提供を行った。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	指導事例の充実が課題である。今後、指導事例の充実を図るとともに、児童生徒の実態に合わせて、指導事例の内容を更新する。
	情報教育研究グループ（情報教育担当者）における情報交換	情報教育研究グループ研修会を年間4回開催した。	計画通り実施できた	今後、体系表や指導事例の更新、各学校における情報教育の進め方の情報共有と研究を進める。
施策の基本方針(2)各教科等の指導におけるICT活用の推進				
主な取組・事業	ICT支援員の配置・授業・校務支援の充実	ICT支援員の配置を増やし、学校規模に応じて各学校週1～2回配置し、支援を行う体制を整えた。	計画通り実施できた	ICT支援員の効果的な配置について研究を進める。
	教育用コンピュータの適正配置	児童生徒及び授業を担当する教員に対し、1人1台端末（教育用コンピュータ）の配備と、破損時の予備端末の貸出体制を整えた。	計画通り実施できた	教育用コンピュータの定期的な更新を行うとともに、費用負担のあり方についても検討を行う。
	各教科におけるICTを効果的に活用した授業の実践事例の周知	小学校学級担任等連絡会を学期に1回開催し、活用事例を共有した。また、その記録を中学校にも共有することで、実践事例の周知を図った。ICT支援員が実践事例を「ICT支援員NEWS」としてまとめ、全教職員で共有した。「がんばる先生応援事業中間報告会」において音楽科におけるICT活用を研究したグループが発表することで、実践事例を周知した。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	1人1台端末の日常的な活用が課題となっている。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を実現するために、1人1台端末を効果的に活用する方法を研究し、実践事例を周知する。
	各教科部会、視聴覚教育担当者会における情報交換、情報提供	各教科部会、視聴覚教育担当者会と指導主事が連携し、実践事例等の情報提供を行った。	計画通り実施できた	「個別最適な学び」の実現に資するICT機器の活用について研究を進める。

重点目標5 教育施策推進のための基盤を整備し、教育成果を共有します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(3)校務のICT化による教員の業務負担軽減及び教育の質の向上				
主な取組・事業	ICT支援員による授業・校務支援の充実	市の職員をICT支援員とすることで、市のICT環境に合わせた支援が充実した。	計画通り実施できた	ICT支援員と教員の連携を進めることで、教員のニーズを的確に把握し、支援内容の改善に努める。
	校務支援システムの活用研修会の実施	年度当初に、初心者向け、新任管理職向け、保健管理機能の研修を行った。	計画通り実施できた	引き続き研修会を実施するとともに、日常的なトラブルシューティングに引き続き対応する。
	校務用パソコンの適正配置	県費負担教職員1人1台端末(校務用パソコン)の配置を行い、不具合発生時の端末交換体制を整えた。	計画通り実施できた	校務用パソコンの定期的な更新を行う。
施策の基本方針(4)学校のICT環境整備の促進				
主な取組・事業	学校施設のICT環境の充実	校内ネットワーク環境の高速化と無線アクセスポイントの追加設置を実施した。	計画通り実施できた	今後、老朽化した設備の更新を継続的に進めていく。また、令和7年度に国が策定する予定の新たなICT環境整備方針を見据えたネットワークの構築を検討する。
施策の柱3 安全・安心で質の高い教育環境の整備				
施策の基本方針(1)安全・安心で質の高い学校施設等の整備の促進				
主な取組・事業	長寿命化計画の策定	令和元年度末に策定済み	計画通り実施できた	「西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画」の内容を反映するとともに、今後も現状に沿った内容に改定を行う必要がある。
	長寿命化等改修工事	平成29年度から実施した西脇小学校保存改修工事が令和元年8月に完了。	計画通り実施できた	長寿命化計画を基に今後も計画的な改修工事を行う。
	給食提供体制の整備	経年劣化による突発的な修繕箇所が増えているが、緊急を要する修繕を優先的に行うなど、迅速に対応を行ったことで、給食を停止することなく提供することができている。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	給食センター稼働後9年が経過し、施設・厨房機器や備品等の交換・修繕が必要となっている。今後も計画的に施設・厨房機器等の維持管理に努めるとともに、予算の確保が課題となっている。

重点目標5 教育施策推進のための基盤を整備し、教育成果を共有します。

Plan		Do	Check	Action
施策の柱・施策の基本方針		実施内容	評価	課題・今後の方向性
施策の基本方針(2)将来的に持続可能な適正学習環境規模の構築				
主な取組・事業	適正な学習環境規模の検討	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年7月に「西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議」を設置し、令和4年6月までの間、12回の会議を開催した。その間、地域会議や地区別現状説明会等を開催し、適正化に関する意見聴取や周知広報等に努めた。 令和4年7月に検討会議から「適正規模・適正配置」に関する答申を受け、その後、計画案を策定した。 令和5年度には、パブリック・コメントや地域説明会を実施し「西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画」を策定した。 <ul style="list-style-type: none"> ○検討会議：12回（R2.7.31～R4.6.17） ○地域会議：延べ15回（西脇中学校区：4回・西脇東中学校区：4回・西脇南中学校区：5回・黒田庄中学校区：4回） ○地区別現状説明会：延べ16回（8地区×2回） ○就学前保護者対象説明会：6回 ○西脇市教育フォーラム：1回（R3.11.28） ○教職員説明会：3回 	計画通り実施できた	「西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画」を具体化するため、地域や保護者等の理解を得ながら、計画を推進していく。
	小中連携教育及び小中一貫教育の研究	小中一貫教育を見据えた連携教育を推進し、幼稚園・子ども園の連携も含めた交流事業を行うことができた。	概ね計画通り実施できたが、わずかに課題が残った	学習環境規模適正化の方向性とリンクさせながら研究内容を具体化していく必要がある。
施策の基本方針(3)学校における教材等の教育環境の充実				
主な取組・事業	教育用備品等の充実	各学校の希望に応じ、体育備品や理科教育等設備備品等、教育目標や教育課程に沿った教育用備品を購入することができた。また、令和2年度以降は、感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため、小中学校の各教室に加湿機能付き空気清浄機を設置するなど、児童生徒の学びの保障のための体制整備を促進することができた。	計画通り実施できた	今後も各学校の実情や教育目標、教育課程に沿った備品の整備を計画的に行うとともに、児童生徒の学習意欲を高めるための必要な教材備品の購入を行う。
	学校図書等の充実	学校の希望に応じ、社会の変化や科学技術の進歩等を踏まえ、児童生徒にとって正しい情報に触れる環境整備を図ることができた。	計画通り実施できた	児童生徒にとって正しい情報や図書館資料に触れる環境整備の観点、読書衛生の観点から、廃棄と更新が適切かつ計画的に行われるよう指導を行う必要がある。

重点目標5 教育施策推進のための基盤を整備し、教育成果を共有します。

Plan	Do	Check	Action	
施策の柱・施策の基本方針	実施内容	評価	課題・今後の方向性	
施策の柱4 児童生徒等の安全の確保				
施策の基本方針(1)学校安全の推進				
主な取組・事業	学校園における危機管理マニュアルの見直し	危機管理マニュアルの見直しを行い、学校園で安全に過ごすことができるよう備えることができた。	計画通り実施できた	危機管理場面の状況を具体的に想定し、あらゆる場面においても一貫した対応が行えるようさらに危機管理マニュアルの見直しを推進する。
	通学路の危険箇所や防犯上の危険個所の点検・把握等	小中学校から提出のあった危険箇所について、道路管理者や警察等と情報共有を図り対策を行った。	計画通り実施できた	工事等による直接的な安全対策と合わせて、見守り活動や歩行者や運転者への安全啓発も合わせて行う。
	学校施設内の防犯対策の充実	学校施設内に防犯に関する道具を配備するとともに各学校の出入り口付近に防犯カメラを設置している。また、不審者対応訓練を実施する等の取組を行っている。	計画通り実施できた	さらに教職員の防犯意識を高めるために防犯対策に関する研修を行う等、効果的な取組を目指す。
	学校行事・授業時の事故防止に係る教員研修の実施	事故につながることはないよう、学校行事等では教職員の役割分担を事前に行い、綿密な計画を基に実施した。	計画通り実施できた	事故防止に関わる研修の実施を行い、さらに学校安全の推進を図る。